

駄知中学校 4本柱（学習・合唱・挨拶・清掃）

本校の良さは、駄知中学校4本柱である学習・合唱・挨拶・清掃です。
 「学習」では、クラスで学習目標をつくって、聞く姿勢や挙手・発言を向上させ、「分かり合う授業」を目指しています。「合唱」では、クラスのこだわりポイントを決めて「楽しい合唱」に取り組み、ミニコンサートやコーラスフェスタで発表します。「挨拶」では、「飛び交う挨拶」を合言葉に、いつでもどこでも誰に対しても、自分からすることができています。「清掃」では、「美しくする清掃」を実現しようと、時間通りに始め、最後まで私語をせず一生懸命取り組んでいます。



「分かり合う授業」を目指して

これらの日常生活の良さが土台となり、体育大会などの多くの行事でも、素晴らしい成果を挙げています。駄知中学校生徒会は、今後も全校で充実した活動を進め、「良さ」をさらに伸ばしていきます。

駄知中学校生徒会執行部



春のミニコンサート



体育大会

給食センター掲示板

給食センター(☎546195)

地元産の新鮮な野菜を使っています

学校給食では、米、牛乳、小麦粉をはじめとする県内産の農産物を積極的に使用し、「地産地消」の取り組みに努めています。市内で作っている野菜もできるだけ使用するようにしており、その量は、市内の生産者や農協の方々の協力によって年々増加しています。



いつもきれいでおいしい小松菜を届けくださる水野忠さん（妻木町）



土岐市産の小松菜を、すまし汁に使用しました。

MEMO

昨年度は、ジャガイモ、タマネギ、白菜、大根、小松菜、ハウレン草など約6,800kgの土岐市産の野菜を使用しました。

土岐市産の野菜を使った給食の感想を皆さんに聞いてみました。

給食で食べた小松菜が、土岐市で作られているって聞いて、ビックリしました。
小学1年生

授業で習った「地産地消」の大切さが分かりました。
小学5年生

どこで作られたものかが分かることで、食に対する見方が育ち、良いなあと思いました。
(先生)

なぜ地産地消？

「地産地消」、「スローフード」という言葉を聞いたことがあると思います。地産地消とは、地元で採れた食材を地元で消費することです。新鮮、安心・安全で、流通コストやCO₂排出量の軽減にもつながります。スローフードとは、伝統的な食材や料理、質のよい食材を守ること、それを提供する生産者を守ること、消費者に対して味の教育を進めることです。子どもたちにも地元のおいしい野菜の良さを伝えていきたいと考えています。